



塙工業高校
第6号

就職戦線異状なし!?

九月一六日(金)から就職試験スタート

高校生の就職は、TVよく見る会社訪問をするような大学生の就職とは違うんです!それでは違いを比べてみましょう。

大学生の就職までの道のりは、次のように進みます。説明会に参加し、次に自分の入りたい会社を調べて、まず学校で就職

の先輩を訪ねて会社や仕事のことを聞きます。さらに会社説明会に参加して会社研究をします。受験する会社が決まったら、エントリーシートという書類を会社

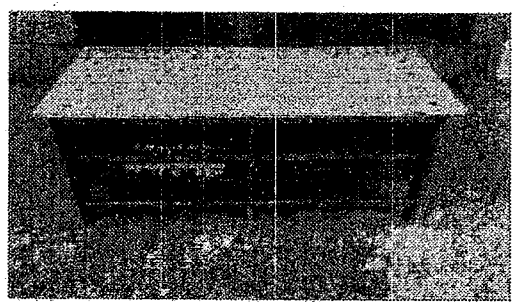
に送ってから入社試験となります。会社は、同時に何社受験してもかまいません。全て手続きを自分でやります。しかし、高校生の場合は、職業安定所(ハローワーク)に登録した会社だけが学校に○人新入社員を

備えあれば憂いなし!

募集しますという書類「求人票」を送ってきます。生徒の皆さんは、求人票を見て入社したい会社を「1社」

「課題研究」の研究

課題研究は、工業高校に所属する3年の生徒が、1年間を通しておこなう研究および製作の授業です。この授業は、大学での卒業研究とは異なり、「物作り」の方法を学ぶ、と



機械科のある班が制作している「防災かまどベンチ」です。

「知識」や「技術」を「作品」に変えるのです。例えると小学校の夏休み

の自由研究に近いかもしれません。そして1年間の総まとめとして研究を発表します。作品説明V『防災かまどベンチ』は、公園などの避難場所では、ベンチが非常時には、炊き出しができるという製品です。

違った名前でも同じ仲間

TVは、電波をアンテナでつかまえて映像や音を出します。でもこの電波と光が同じ仲間だって信じられますか? 私たちが肉眼で見ることができる「光」、レントゲンなどに使う「X線」、日焼けの原因になる「紫外線」、リモコンに利用される「赤外線」、そして携帯電話の「電波」。「光」以外は私たちの目には見えませんが、すべて光と同じ「電磁波」の仲間です。

編集後記

先日TVの落語を見る機会があった。その時に前の噺家(はなしか)が終わり、次の噺家がでる前に前座と呼ばれる人が座布団を裏返して向きを変えていた。座布団というものは、一見、正方形のように見えるが、よく見ると前後に少し長く横は、やや短い。座布団の裏表は、中央の糸の房が飛び出して、いる方が表、縫い目しか見えないのが裏である。また座布団は、前後があり、縫い目がないのが、正面(お客様に向ける)である。普段何気なく使っている座布団にも、マナーがある。普段から身の回りのマナーに気を配るのも社会に出る練習である。

適性検査も重要なポイント

このように高校には、大学と異なる独自の全国共通のルールがあります。また最近では、大学生のように筆記試験とは別に、会社に応募してきた生徒が会社に合っ

たい会社を「1社」決めます。(高校では、複数の会社を受験できません!)そして高校から書類を会社に送って、入社試験となります。これはできません。

このように高校には、大学と異なる独自の全国共通のルールがあります。また最近では、大学生のように筆記試験とは別に、会社に応募してきた生徒が会社に合っ